

第26期貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

平成28年6月24日

宮崎市青島一丁目16番1号
青島リゾート株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【 資 産 の 部 】		【 負 債 の 部 】	
流 動 資 産	198,536	流 動 負 債	308,191
現金及び預金	93,760	買掛金	26,797
売掛金	71,214	短期借入金	118,124
商 品	1,475	未払金	113,921
材 料	8,741	未払費用	14,068
貯 蔵 品	10,792	未払法人税等	536
前払費用	8,414	未払消費税	19,049
その他流動資産	4,336	短期リース債務	2,084
貸倒引当金	△198	前受金	994
		預り金	3,831
		賞与引当金	8,783
固 定 資 産	2,048,582	固 定 負 債	1,722,815
有形固定資産	2,026,959	長期借入金	1,643,407
建築物	1,541,865	長期未払金	30
構築物	219,090	長期リース債務	5,456
機械及び装置	1,265	預り保証金	30,770
工具器具備品	84,835	退職給付引当金	33,231
土地	172,361	ポイント引当金	9,919
リース資産	7,540		
無形固定資産	9,414	負 債 合 計	2,031,007
ソフトウェア	6,869	【 純資産の部 】	
電話加入権	2,252	株 主 資 本	216,111
商 標 権	292	資 本 金	100,000
投資その他の資産	12,208	資本剰余金	493,108
破産更生債権等	352	資本準備金	372,000
その他投資	635	その他資本剰余金	121,108
長期前払費用	11,573	利益剰余金	△376,997
貸倒引当金	△352	その他利益剰余金	△376,997
		繰越利益剰余金	△376,997
資 産 合 計	2,247,118	純 資 産 合 計	216,111
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,247,118

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(個別注記表)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産を除く)…定額法を採用している。

②無形固定資産(リース資産を除く)…定額法を採用している。

なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっている。

③リース資産…(イ)所有権移転ファイナンス・リース取引

自己所有の固定資産に適用する減価償却と同一の方法によっている。

(ロ)所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金…売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

②賞与引当金…従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上している。

③退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

④ポイント引当金…ホテルの利用促進を目的とするポイント制度に基づき、ポイントカード利用者に付与したポイントの使用による費用負担に備えるため、当事業年度末における将来使用されると見込まれる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式 343,573 株

3. 当期純損益金額

当期純利益 25,824 千円